

ティーンズだより

みどりの翼

特集

笑い

Vol. 13

Ψ とびっく Ψ



この本読んで！「10月から12月」

図書館からのお知らせ

Read me！「特集★笑い」

図書館トリビア「図書館に本が届くまで」

図書館トリビア

へえ～

『本が“図書館の本”になるまで』

寒い～～ぶるぶる……。昨年12月は田原でも珍しくたくさんの雪が降って、ビックリだったね。雪だるまを作った人もいたのでは？

さて今回は、図書館の新着本コーナーに本が並ぶまでのお話。

図書館には新しく出版された本が毎日のように届きます。この本の中から図書館に入れる本を決めるため「選書」をします。週に1回「選書会議」があり、どの本を買うか決めます。

「選書」をするときは、普段どんな本が多く利用されているか、調べものをするのに役立つかなど、いろいろな角度から考えて決めています。中には買うか買わないか迷う本もありますけどね。

買うと決まった本は、「発注」し、図書館の本にするべく「装備」をしてもらいます。バーコードを貼り、フィルムコートをかける作業です。ここで外見は図書館の本らしくなります。

最後に「受入」作業です。発注した本の情報に蔵書になったという情報を付け加えるためパソコンに入力していきます。

というわけで、選書会議から約1週間かけて、このような手順で、新着本コーナーに並んでいるわけです。

「みどりの翼」 vol. 13

発行日：平成18年1月21日

発行：田原市図書館

〒441-3421 田原市田原町汐見5番地

TEL 0531-23-4946 FAX 0531-23-4646

<http://www.city.tahara.aichi.jp/section/library>

☆この本読んで！☆

10月から12月にかけてみんなが答えてくれたアンケートをもとに、おすすめの本をあつめたリストです。これから本を選ぶ際の参考にしてみてください。

「フライ、ダティ、フライ」

金城一紀//著

講談社

913.6/芥

一般

ゾンビーズ・シリーズ、第二段です。映画

にもなったので知っている人もいるのでは？とにかく朴舜臣（パクスンミン）がかっこいいです。この本を読めば、何でもやればできる気がしてきます。そう、だから空だつてとべるはず...。(高1女)

「No. 6」 あさのあつこ//著

講談社

913/7

ティーンズ

ネズミかっこ良すぎです！！生きることについて考えさせら

れました。生きていることが当然だと思わず、感謝しながら生きていきたいものです。

(高1女)

「さとうきび畑の唄」

進川和彦//著

汐文社

913/1

児童

テレビでもやってたことがあってこ

の本を読むと戦争について考えさせられるような本です。(中1女)

「少年アリス」

長野まゆみ//著

河出書房新社

913.6/芥

一般

初めは題名にひかれて読みました。人の

心や行動がわかりやすく書かれているので、とても楽しく読みました。やや昔の書き方で書かれているので、小さい子向きではないかも...。と思いました。(高3女)

「狐笛のかなた」 上橋菜穂子//著

理論社 913.6/芥

ティーンズ ほか

使い魔の狐の青年とみなしごの少女の少し切ない恋物語です。生きるために人を殺す狐

と出産の手助けをする少女。

運命のいたずらか出会った2人は大きな陰謀に巻きこまれてゆく！？(中2女)

「I + (それ) とよぼれた子」

デイヴ・ペルサー//著

青山出版ほか

936/パル

ティーンズ・一般

ぎゃくたいされた子どもの話で、とても涙がでる話なので、これ

から大人になる人！またはもう大人の人にぜひよんでください。(中2女)

「スッコケ三人組シリーズ」

那須正幹//著

ポプラ社

913/芥

児童男の子の友情がとてもよかったです。おもしろかったのでぜひよんでください。

(小6女)

図書館からお知らせ

1. 渥美図書館開館

渥美図書館が12月1日リニューアルオープンしました。蔵書検索をして、渥美所蔵の本やAV資料も中央図書館で受取ることができます。リクエストカードを書いて、じゃんじゃん図書館を使いこなそう！

2. 講演会があります

2月11日(土)午後2時~田原市文化会館 多目的ホールで、「週刊こどもニュース」のお父さん役でおなじみ、池上彰さんの講演があります。整理券は中央カウンターにあります。毎日流れる膨大なニュースの見方、読み方がわかるかも！

3. YAコーナーアンケート報告

11月の中旬から年末にかけて、YAコーナーの掲示板前に、文庫本や雑誌の落書き・切り取りをみてもらい、アンケートを行いました。コメントは、全部で17件。みなさん図書館の本は大切に読もう！ひどいことをする人は許せない！といった意見がほとんどでした。

多くの方が利用する図書館だからこそ、マナーを守って、気持ちよく使ってもらえるように、YA担当も心がけていきたいと思えます。ご協力ありがとうございました。

図書館がオススメするすてきな本

Read me! 特集★笑い

あけまして、おめでとうございます。新しい一年の始まりです。

「一年の敬は元旦にあり！」

「笑う門には福来る。」笑ってすごせる愉快的な毎日をねがいつつ

「笑い」をテーマにおすすすめ本を紹介します。



最近笑ったのはいつですか？大笑い、クスクス笑い、泣き笑い
いろんな笑いがありますが、初笑いといきましょう!!

「東海道中膝栗毛」

谷真介//著 村上豊//絵 ポプラ社 2002年
918/ニ ティーンズ・児童

ご存知！日本で一番
有名な旅物語。十返舎
一九の「東海道中膝栗
毛」が現代語訳で読み
やすくなった一冊。旅
にトラブルはつきもの
ですが、弥次郎兵衛と

喜多八の二人の旅は、どんな事がおきても
「これもまた、はなしのたねよね、…」とおも
しろおかしく笑い飛ばしてしまいます。旅先
で詠まれる狂言・俳句もシャレがきいていて、
江戸っ子な感じ。約200年前に書かれた物
語とは思えないくらい、新鮮な日本に出会え
る物語です。

「伝記 チャップリン」

パム・ブラウン//著 橋高弓枝//訳 偕成社
1993年 280/デ ティーンズ・児童

ぶかぶかズボン、窮
屈な上着、山高帽、ど
た靴にちょび髭とくれ
ば、世界中の人が知っ
ている映画の中の主人
公、チャップリンです。

イギリスに生まれ、貧しい少年時代からアメ
リカに渡り、映画で大成功するまでのサクセ
スストーリー。サイレント（無声）映画で、
いろんなメッセージを世界に伝えた喜劇王チ
ャップリン。読後は、もう一度、チャップリ
ン映画をみたくなる一冊です。

「落語って、こんなハナシ」

春風亭昇太//監修 ブックマン社 2005年
779.13/ラ 一般

オチがついてい
る話だから、落語!?
落語家は何人?
など、素朴な疑問Q
&Aから、傑作断ま
で、これを読めば、
落語が身近な笑い
ということがわか

ってくる。東京では、ほぼ毎日どこかで落語
が聞けるという、古典芸能なんだけど、今も
進化している落語に興味があわいてくる一冊で
す。日本独自の芸能を知らないなんて、もっ
たいない。

◇お笑い芸人のネタ本いろいろ◇

「さまぁ〜ずの悲しいダジャレ」

さまぁ〜ず（三村マサカズ・大竹一樹）//著
宝島社 2004年 779.14/サ 一般

右ページに大竹のダジャレ+悲しいひとこ
と、左ページに三村の突っ込みが基本形。哀
愁ただよう？ダジャレネタに大笑いしなくて
も、ふふっと笑ってしまうかも。

ダジャレの後に続く悲しいひとことを予測
するという「悲しいダジャレクイズ」なんて
コーナーもあります。

ほかにもこんなネタ本が、はいってます！

「こんな〇〇は××だ!」1~3

鉄拳//著 扶桑社 M726.1/テ 一般

「漫才少年」

ますだおかだ//著 KKベストセラーズ
2004年10月 779.14/マ ティーンズ

「かなしいとき」1~2

いつもここから//著 講談社 917/イ 一般

「どけどけ」

いつもここから//著 講談社 2004年
917/イツ 一般

「ヒロシです。」

ヒロシ//著 扶桑社 2004年 779/ヒ 一般

「マチルダは小さな大天才」

ロアルド・ダール//著 ケンティン・ブレイク//絵
宮下峰夫//訳 評論社 2005年
933/ダ ティーンズ

『チョコレート工場
の秘密』のダールが
おくる、天才少女マ
チルダの痛快な物語。
マチルダは4歳にし
て名作を読みこなす
大天才。彼女の頭の
良さに気づかず理不

尽な仕打ちをする両親にマチルダはおもしろ
い計画を立て仕返しをしていました。ある日
子ども嫌いで皆に恐れられる校長ザ・トラン
チブルに、やっていないいたずらで叱られた
マチルダは、怒りのあまり奇跡的な力を発揮
して・・・!

「女子中学生の小さな大発見」

清邦彦//編
新潮社 2002年 404/セ ティーンズ

普段、なにげないこ
とに、ふと疑問を抱く
こと・・・、ありませ
んか?その疑問を、本
で調べたり、インター
ネットで調べたりして
フーンと思うことはあ

っても実際に実験してみることはないので

は?この本では、女子中学生が疑問に思った
なにげないことを観察・実験して発見した驚
きのレポート集です。テーマについてわけて
あり、2、3行でシンプルにまとめてあるも
のばかりなので、見たいところを短い時間で
見ることができます。やってみたくなるもの
いっぱい、ニヤリとすることまちがいのし
オススメな一冊です。

「イラン・ジョーク集」

モクタリ・ダヴィッド//著

新紀元社 2004年 929.9/ダビ 一般

イランってどんな
国のイメージがあ
りますか?紛争が
絶えず、宗教争いの
国などと思ってい
ませんか?イラン
では、誰かが落ち込
んでいるようなら

ば、周りの人がすぐにジョークを言い、楽し
くなるようにしてくれるなど日常的にジョー
クが多いといった面もあるのですよ～。日本
人の感覚だと、う～ん・・・おもしろい?と思
ってしまうものもありますが、こういうジョ
ークが面白いのか～と覚えておくと海外旅行
の際には人気者に!?長いジョークはあまり
ないので、短い時間でもパラパラと見て、す
ぐに実演可能な一冊です。

「顔の美術館」

タイガー立石//文・絵

福音館 1994年 723/タ ティーンズ

有名な絵画の
中でも顔だけに
スポットをあて
てるのが、この一
冊。上下さかさま
にしても顔にみ
えるような絵、た

くさんの人が集まって顔になってい絵・・・
などなど、おもしろい顔がいっぱい。この本
をみて、更におもしろい顔が思いつく貴方は
未来の芸術家の卵かも!?

「今日はなぞなぞの日」

フジモトマサル//著 平凡社 2004年
798/フ ティーンズ

なぞなぞです。
「買うと、もれな
くおやつがもら
える家電製品
は?」こんなおも
しろいなぞなぞ
満載。みんなで読
みながら、なぞ解

きするのもいいけれど、イチバン楽しい使い
方はあなたが出題者になること!悩む友達や
家族を前にニヤリとできます(笑)。

ウェブサイト『ほぼ日刊イトイ新聞』に連
載されたものを本としたもの。

【答えは、加湿器(菓子付き)】

★その他の笑いの本★

- 「江戸のこぼなし」山住昭文//著 筑摩書房 1995年 913/ヤ ティーンズ
- 「なぞなぞ下町少年記」このみひかる//著 筑摩書房 1989年 914/コ ティーンズ
- 「人はなぜ笑うのか」志水彰ほか//著 講談社 1994年 141.6/シ 一般
- 「笑いの共和国」藤井省三//編 白水社 1992年 923.7/フ 一般
- 「マン・オン・ザ・ムーン」ボブ・スムダ//著 角川文庫 2000年 779/ス 一般
- 「おもしろことばなんじゃらほい」ひろかわさえこ//著 草土文化 2002年 814/ヒ
- 「毛髪川柳」日本自毛植毛センター//編 日本文芸社 2005年 911.46/モウ 一般

★もっと調べてみたい人・ほかの本を探したい人へ★

図書館では調べものや本を探すお手伝いをしています。

カウンターなどで気軽に声をかけてね! *次回のテーマは「変身」です。